

No.⑨	分類	3-(2)-イ	資料名	たいようはわらっているよ	学年	2年	関連領域例	道徳科	D-(18) 自然愛護
------	----	---------	-----	--------------	----	----	-------	-----	----------------

1 ねらい

- 地球全体の環境の悪化が懸念され、持続可能な社会の実現が求められている中で、身近な生活について考えることや世界中の子どもたちの状況に触れることを通して、自然を大事に守り育てようとするなど、自分にできることから始めようとする。

2 趣旨

- 「環境」「平和」「人権」が相互に関係している SDGs。身近な事象から考えることを通して、世界的な事象に目を向け、自分たちの生活と比較し、自然や動植物を大事に守り育てようとするなど、自分にできることから始めようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

3 配慮事項

- 全世界の人々が継続的に取り組むべき課題について、小学校低学年から考えるために、より身近な事象から世界的な事象へと目を向けさせるようにしたい。
- 各地域の名産について知ること、地産地消に目を向け自分のできることにつなげたいが、低学年の児童にとっては、難しいと思われるので、身近な食べ物から考えさせたい。
- SDGs とは、国連において採択された 2030 年までに世界の人々が達成しなければならない 17 の目標のことである。

4 展開例

学習内容	指導上の留意点
1 「たいよう」とは、どんなものなのかを考える。 「たいよう」とはどんなものだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太陽に対するそれぞれの児童がもつイメージを共有する。持続可能性が高い太陽について考えることで、SDGs の考え方に触れさせる。</li> <li>・ 太陽は、世界中のどこにでも、また、誰にでも、分け隔てなく届くものであることに触れさせる。</li> </ul>
2 「わらっている」状況について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わらっている」状況は、とても幸せな状況にあるということを感じ取らせる。</li> </ul>
3 資料の内容について考える。 ・ 歯磨きのときの水や部屋の電気、食事のことについて考える。 ・ 世界中の国やその国の子どもたちについて知り、自分たちの生活と比較する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活についてふり返る。</li> <li>・ 世界の危機的状況の補足説明をする。必要であれば、写真等を使用する。</li> <li>・ 世界の危機的状況の一端に触れることで、SDGs の共通理念である「誰一人取り残さない」について考える機会とする。また、太陽が笑っている状況なのか泣いている状況なのかを考えさせ、自分の生活をふり返るきっかけとする。</li> </ul>
4 生活をふり返り、自分にできることを考える。 自分の生活をふり返り自分にできることを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が生活でしていることが、「たいようがわらっている」「たいようがわらえなくなってしまう」のどちらの状況につながるかを考えることで、今後の生活について考える機会とする。</li> <li>・ 日常の生活で自分にできることを考え、できることから取り組もうとするきっかけとする。</li> </ul>